

「福島の再生なくして日本の再生なし」その想いを旨に

皆様におかれましては、新年をお健やかに迎えのことと存じます。
東日本大震災より8年の歳月を迎えようとする今、私たち久慈設計は、被災された方々へ心を寄せ、愚直に、真摯に建築設計を通じて震災復興へ寄与させて頂いております。今の福島を全国の皆さまに発信させていただき、同じ日本の地に生きる私たちの想いを、福島の皆様から応援のご機会を頂くことが出来ました。私たちは福島県が再生されるまで、随時、福島応援団として福島県の魅力を発信してまいります。

株式会社 久慈設計 代表取締役 久慈竜也

ふくしまの“いま”を伝えたい

ふくしまはこれまで国内外の多くの方々からのご支援により、復興を進めてまいりました。原子力発電所事故により避難を余儀なくされた地域においても、新しいまちが整備され、学校が再開し、帰還する方も増えてくるなど、「光」が見えてきております。

しかしながら、いまだに4万人を超える県民の方々が避難生活を続け、根強い風評、加速する風化など、震災の影響は依然として県内全域に及んでいることも事実です。

こうした中、広く県外の方々にもふくしまの正しい情報を発信できることは大変ありがたい、この機会に全国の皆さまにふくしまの復興の状況、観光情報、名産品や美味しい旬の食べ物、そして動き出した新しい取組など、たくさんの情報を発信していきたいと考えています。

みなさま、自然豊かで美しく、そしてチャレンジを続ける新生ふくしまの“いま”を感じに、ぜひふくしまへお越しください。

福島県 企画調整部

史上初となる金賞受賞数「6年連続日本一」達成!

平成29酒造年度全国新酒鑑評会において、福島県は19銘柄が金賞に選ばれ、金賞受賞数で史上初の6年連続日本一となりました。福島県はこれからも「日本一の酒処ふくしま」を積極的にPRしてまいります!



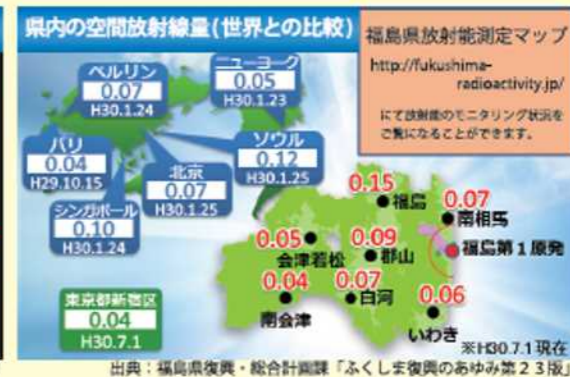
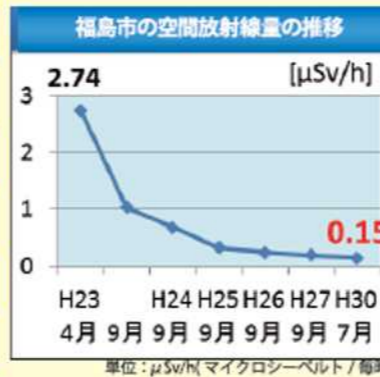
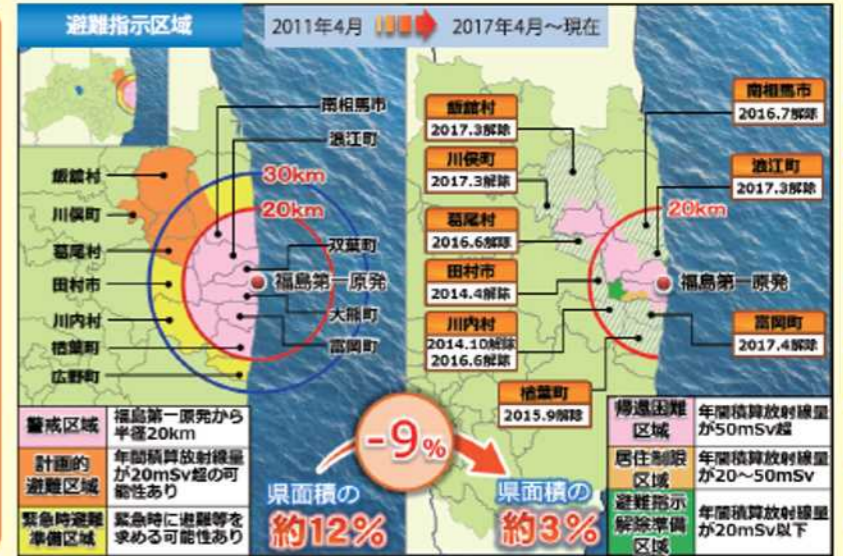
2018年12月9日に東京国際フォーラムにて開催した「ふくしま大交流フェスタ」では、ふくしまの36の蔵元のお酒が楽しめる「ふくしま酒バー」が1日限定でオープンしました。当日は1万2千名を超える来場者数となりました。



こんにちは! 福島県の復興シンボルとしてみんなをつなぐキビタンだよ!
頭のアンテナで福島の“魅力”と“今”を発信していくよ☆

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、福島県は地震や津波だけではなく原子力発電所の事故が起きて、近隣の市町村は長い避難生活を強いられることになったんだ。

その面積は震災直後には福島県の面積の12%に達したんだけど、2014年からは少しずつ避難指示が解除されて、2017年4月には3%まで小さくなっているんだよ。

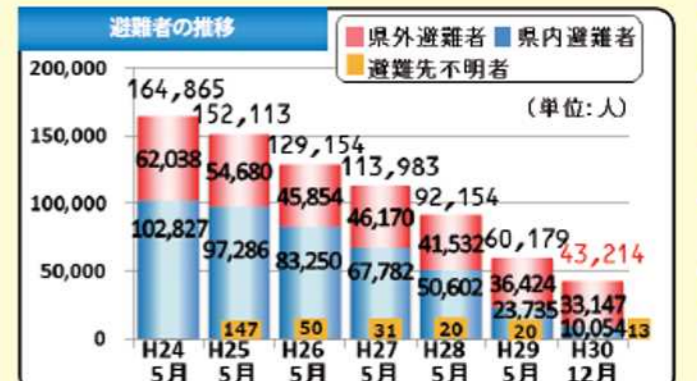


県内の空間放射線量は震災直後に比べて減少していて、世界のほかの都市とほぼ同じ水準になっているんだ。



安心・安全がイチバン

避難した県民は震災直後の16万人から1/4に減少したけれど、いまなお4万人を超える県民が避難を続けているんだよ。避難している人が一日も早く地元での生活をスタートできるように、今後も生活環境の整備に取り組んでいくからね!



出典: 福島県災害対策本部「平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況即報」

発行責任者: 株式会社 久慈設計 営業企画部
住所: 岩手県盛岡市紺屋町3-11 TEL: 019-624-2020